

Title	経済学関係文献目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1955
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.48, No.3 (1955. 3) ,p.259(75)- 263(79)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19550301-0075

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

り、剩餘價値の源泉観が検討されたり(第二節)、剩餘價値と利潤と平均利潤との混同が批判されたり(第三節)、價値の生産價格への轉化の無理解が論難されたりしている(第四節)。また、第四章の古典學派の解體の部分では、解體の契機として、價値法則を基礎として剩餘價値の發生や利潤率の均等化が展開されなかつたことがあげられている。岡茂男氏が本書を評して、「ここにケネーからマルクスに至る科學としての經濟學の發展史が初めて『剩餘價値學說史』に則して統一のかつ體系的に敘述された」とのべられる所以である。『日本讀書新聞』、昭和二年一月一日號)また吉澤芳樹氏が『剩餘價値學說史』の手堅い一解説書であると同時に、『資本論』の理解を側面から深めるものとなつてゐる。とのべられる所以である。『圖書新聞』、昭和二年一月一日號)

だが實はここに問題があるのである。『剩餘價値學說史』に則して經濟學史の著述をするということは、果たしてこんにち經濟學史の研究に従事するものとして、ただし態度であらうか? いうまでもなく『剩餘價値學說史』に依據して經濟學史の歴史を検討するということ自体はあやまりではない。しかし『剩餘價値學說史』はもともとマルクスによつて體系的に經濟學史として執筆されたものではない。それは「剩餘價値に關する諸學說」とマルクス自身によつて題された草稿であり、『資本論』第四卷としてエンゲルスによつて刊行されるはずのものであつた。『資本論』第二卷序言参照。マルクスの當初のプランではこれとは別個に「經濟學と社會主義との批判と歴史」が豫定されてゐたようである。(マルクスよりラッサール宛、一八五八年二月二日附書翰参照。)ここで私たちはマルクスの「經濟學プラン」に占める『資本論』の位置を想起する必要がある。價値論が經濟學體系の核心をなすにしても、價値論の歴史はし

よせん價値論の歴史であつて本來の經濟學史からみて相當の距離があるといわねばならない。そのことがひとつ。それから、本書の敘述様式、およびそれを制約する方法論であるが、「論理主義」という言葉でこれを特徴づけようであらう。さいきんの日本の經濟學界では經濟學史の方法として從來のこのような偏狭固陋な學說史的方法を克服することを一つの課題としてゐる。そのために社會經濟史的方法のアプローチや社會思想史的方法の採用されたり、あるいは、このようないわば「歴史主義」的な課題を擔つた、經濟學史の「戦後派」的形態である。私は、こんにち經濟學史を研究するものは、この方法論議を通過することなしには、自己の研究に現代的意義を賦與しえないと思ふ。しかるに本書中にはこのような問題意識が全く缺けてゐる。この點、本書は戦前の「論理主義」の典型である舞田長五郎氏著『經濟學史概要』上卷(昭和二年、岩波書店)と同一の類型と水準にぞくするものである。そして注意されねばならぬのは、本書のこの二つの缺陷が相互に關聯してゐるということである。

經濟學史はいかにすれば、一個の獨立の科學たりうるか? 換言すれば、經濟學史の獨自の對象と方法とは何であるか? また經濟學史研究の現代的意義は何であるか? この二つの根本問題が徹底的に追求される過程のなかでこそ、眞の經濟學史がうまれてくるであらう。(岩波全書、三六七頁、一九五四年九月七日、二八〇圓) (遊部 久藏)

經濟學關係文献目錄

(昭和二十九年十一月刊)

理論・學說・經濟思想

- * 厚生經濟學 3 ビグウ著・永田清他譯 A 5、四一八頁 五〇〇圓 東洋經濟新報社
- * 若ものたちの經濟學 下 守屋典郎著 B 6、二二二頁 九〇圓 三一書房
- * マルクス主義政治經濟學入門 下 レオンチエフ著 野間清譯 B 6、二四二頁 二一〇圓 三一書房
- * 近代經濟學の展望 稻葉四郎著 A 5、二五五頁 四六〇圓 三和書房
- * 經濟思想發展史 3 社會主義と歴史學派 スpiegel編 越村信三郎、古澤友吉監譯 B 6、三四八頁 三〇〇圓 東洋經濟新報社
- * 經濟政策原理(勁草全書) 宮田喜代藏著 B 6、三二六頁 三二〇圓 勁草書房
- * 計量經濟學 鈴木諒一著 A 5、二六八頁 五五〇圓 紀元社
- * 經濟學入門(朝日文化手帖) 都留重人著 規外一八四頁 一〇〇圓 朝日新聞社
- * 厚生經濟學 長守善著 A 5、一九八頁 二八〇圓 有斐閣
- * 經濟學入門 改訂10版 波多野鼎著 B 6、三四九頁 三二〇圓 有斐閣

經濟學關係文献目錄

財政・金融・保險・證券

- * 經濟循環の構造(經濟發展研究會叢書) 市村眞一著 A 5、三〇二頁 三八〇圓 創文社
- * 政治經濟學の方法論(青木文庫) 王學文著 新民主主義經濟研究會譯 A 5、一九四頁 八〇圓 青木書店
- * 經濟學原論 新訂版 チャップマン著 犬丸秀雄譯 A 5、一六七頁 二八〇圓 寶文館
- * 資本主義か社會主義か 松山茂二郎著 A 5、二七〇頁 三〇〇圓 關書院
- * 資本主義 牧野純夫著 B 40、三〇五頁 一六〇圓 新評論社
- * 現代資本主義の經濟と政治 1 宇佐美誠次郎、長洲一二他編 A 5、三〇二頁 三二〇圓 大月書店
- * 經濟思想發展史 4 限界效用學派 Spiegel編 越村信三郎、山田長夫監譯 B 6、三〇〇頁 二九〇圓 東洋經濟新報社
- * 資本論に關する手紙 上 マルクス・エンゲルス著 岡崎次郎譯 A 5、二四八頁 三〇〇圓 法政大學出版局
- * 金融論(經濟學演習講座) A 5、四六九頁 五五〇圓 青林書院

七五 (二五九)

* 新訂財政學入門 潮見三郎 B 6 二二四頁 二〇〇圓 廣文社
 * 保險學 國乾治著 A 5 四〇六頁 六八〇圓 泉文堂
 * 金融論(岩波全書) 渡邊佐平著 B 6 小三三六頁 二八〇圓 岩波書店

商工業・經營・會計

* 原價管理論 小林靖雄著 A 5 三〇七頁 四五〇圓 森山書店
 * 會計學 黒澤清編 A 5 四七四頁 五五〇圓 青林書院
 * 經營學 中西勉著 A 5 三〇〇頁 三八〇圓 高陽書院
 * 會計學原論 木村重義著 A 5 二九〇頁 三五〇圓 同文館
 * 原價計算精説 山邊六郎著 A 5 五〇〇頁 六〇〇圓 白桃書房
 * 全訂商業簿記 黒澤清著 A 5 三二四頁 三八〇圓 千倉書房
 * 經營組織 松岡義人著 B 6 二七二頁 三〇〇圓 同文館
 * 公益企業經營論 下クレメンズ著 竹中龍雄監譯 A 5 五二七頁 九〇〇圓 ダイヤモンド社

労働・社會政策

* 労働計畫 茂木一郎譯編 A 5 一七二頁 一〇〇圓 理論社
 * アメリカ労働運動の歩み 上(青木文庫) オースチン著 雪山慶正譯 B 40 一七六頁 一〇〇圓 青木書店
 * アメリカ・イギリス・フランスの労働者の状態 下 スミツ

* 農村經濟の展開過程 近藤康男、大谷省三他著 A 5 二八六頁 三三〇圓 河出書房
 * 日本農業技術史 古島敏雄著 A 5 七四五頁 九五〇圓 時潮社

歴史

* 二月革命(文庫クセジュ) マルタン著 井上幸治、三上次男譯 B 6 小 一八八頁 一二〇圓 白水社
 * ロシア古代中世史 パンクラートワ監修 江口朴郎譯 A 5 三二二頁 四二〇圓 東京大學出版會
 * アメリカ社會文化史 上 カーチ著 龍口直太郎他譯 B 6 五三六頁 六〇〇圓 法政大學出版局
 * ドイツ共產黨の歴史(青木文庫) ビーク著 大木理人譯 A 6 二四八頁 一〇〇圓 青木書店
 * 株式會社發生史論 1 大塚久雄著 A 5 六〇九頁 六五〇圓 中央公論社
 * 近世の日本 本庄榮治郎著 B 6 二〇〇頁 二〇〇圓 有斐閣
 * 世界史講座 4 尾鍋輝彦他著 A 5 三一八頁 三五〇圓 東洋經濟新報社
 * ギリシヤ古代社會研究 上 トムソン著 池田薫譯 A 5 三五五頁 六五〇圓 岩波書店
 * ルイ・ボナパルトのブリュメール十八日(岩波文庫) 伊藤新一、北條元一譯 A 6 二三五頁 八〇圓 岩波書店
 * アメリカ人民の歴史 上(岩波新書) ヒューバーマン著 小林良正、雪山慶正譯 B 40 二六二頁 一三〇圓 岩波書店
 * ドイツ經濟史 クチンスキー著 高橋正雄、中内通明譯 B

經濟學關係文獻目錄

ト著 田尻盛戸譯 B 40 三四七頁 一二〇圓 青木書店
 * マルクス・エンゲルス・レーニン・スターリン婦人論(國民文庫) ポリツト編 土屋保男譯 A 6 一六六頁 七〇圓 國民文庫社
 * アメリカ労働運動の歩み 下(青木新書) オースチン著 雪山慶正譯 B 40 三五九頁 一〇〇圓 青木書店
 * 労働組合論(國民文庫) マルクス・エンゲルス著 マル・エン選集刊行會編譯 A 6 一五九頁 七〇圓 國民文庫社
 * 新しい労働組合と労働運動 タンネバオム著 新岡武譯 B 6 二五五頁 二二〇圓 實業之日本社
 * イギリス労働運動小史 山中篤太郎著 B 6 二五三頁 二五〇圓 同文館
 * インタナショナル小史(國民文庫) ソヴェト大百科事典 大橋國太郎譯 A 6 一〇七頁 五〇圓 國民文庫社
 * 交通概論 改版 佐波宣平著 A 5 四〇〇頁 六三〇圓 有斐閣

農業・林業・水産業

* 中國土地制度史研究 周蔭吉之著 A 5 七三九頁 一、四〇〇圓 東京大學出版會
 * コルホーズ(青木文庫) 的場徳造著 A 6 二六五頁 一〇〇圓 青木書店
 * 經濟地理學基礎理論 國松久爾著 A 5 二一五頁 三五〇圓 風間書房
 * 日本農民運動史(青木文庫) 稻岡進著 A 6 小 一九〇頁 八〇圓 青木書店

6 二六五頁 三〇〇圓 有斐閣
 * 前期資本主義史論 田中豊喜著 A 5 二五〇頁 三六〇圓 泉文堂
 * 明治維新の社會構造 堀江英一著 A 5 二二二頁 三〇〇圓 有斐閣
 * イギリス重商主義研究 張漢裕著 A 5 二六〇頁 五〇〇圓 岩波書店
 * 革命の歴史——マルクス主義と民主主義的傳統——ランデイ著 藤野涉譯 B 6 三〇九頁 二八〇圓 新評論社
 * 近代市民社會の形成(文庫クセジュ) ペルヌー著 山上正太郎譯 B 6 小 一三六頁 一二〇圓 白水社
 * 中國現代史(岩波新書) 岩村三千夫、野原四郎著 B 40 二四三頁 一〇〇圓 岩波書店
 * アメリカ人民の歴史 下(岩波新書) ヒューバーマン著 小林良正、雪山慶正譯 B 40 二八五頁 一三〇圓 岩波書店
 * 日本資本主義の成立 梶西光速他著 B 40 二六一頁 一三〇圓 東京大學出版會

世界經濟・貿易・海外事情

* 帝國主義の經濟と政治の基本的諸問題 下 B 6 四〇〇頁 三八〇圓 大月書店
 * 中華人民共和國の國家體制と基本動向 愛知大學國際問題研究會編 A 5 三三七頁 四八〇圓 勁草書房
 * 第二次大戰後の植民地體制 上 マスレンニコフ編 南信四郎譯 A 5 三三二頁 三四〇圓 三一書房
 * アジア經濟圖説(岩波新書) 大來佐武郎、原覺天著 B 40 二二四頁 一五〇圓 岩波書店

- * 新中國の經濟と文化 現代中國學會編 B 6 二六四頁 二五〇圓
- * ソヴェト經濟の分析 野々村一雄、副島種典編 A 5 三〇五頁 四〇〇圓
- * 世界の資源と産業 ジンマーマン著 後藤譽之助他譯 B 5 一、〇八二頁 六、〇〇〇圓
- * 第二次大戰後の植民地體制 下 マスレンニコフ編 南信四郎譯 B 6 二七六頁 三〇〇圓
- * マルクス主義と民族問題 向坂逸郎著 B 6 二八五頁 二五〇圓

社會學

- * 政府論 上 マッキイヴァー著 秋永肇譯 B 6 三一四頁 三二〇圓
- * ソ同盟における政治權力 2 (岩波現代叢書) タウスター著 前芝確三、川口是譯 B 6 三四八頁 三〇〇圓
- * 社會調查の方法 福武直編 A 5 二二三頁 三二〇圓
- * 社會病理學 磯村英一著 A 5 三六三頁 六〇〇圓
- * 思想と言語 (社會學大系 9) 田邊壽利編 B 6 二六二頁 二八〇圓
- * 社會病理學 戶田貞三、土井正徳編 A 5 四二二頁 六五〇圓
- * 國家と階級 (社會學體系 3) 田邊壽利編 B 6 二五六頁 二八〇圓
- * 官僚制 (フォルミカ選書) ウェーバー著 阿閉吉男、脇圭平譯 B 6 一〇二頁 一五〇圓

社會思想

- * イデオロギイとユートピア 世界大思想全集 社會・宗教・科學思想篇 24 マンハイム著 鈴木二郎譯 B 6 三〇一頁 二九〇圓
- * 村落研究の成果と課題 村落社會研究會編 A 5 二六〇頁 三〇〇圓
- * 政府論 下 マッキイヴァー著 秋永肇譯 B 6 三一〇頁 三二〇圓
- * レーニン全集 6. マルクス・レーニン主義研究所譯 B 6 五九七頁 七五〇圓
- * 資本主義・社會主義・全體主義・共產主義 下 ショオ著 藤本良造譯 A 6 一九四頁 七〇圓
- * 唯物論と辯證法 コンフォース著 小松攝郎譯 B 6 二〇七頁 一五〇圓
- * スタリリン全集 19 スタリリン全集刊行會譯 B 6 四二二頁 二八〇圓
- * マルクス・エンゲルス選集 16 マルクス・レーニン主義研究所編 B 6 五三四頁 四二〇圓
- * 辯證法十講 (角川文庫) 柳田謙十郎著 A 6 一九二頁 七〇圓
- * 社會主義と倫理 セルサム著 著野涉譯 B 6 三三四頁 三五〇圓
- * スタリリン全集 13 スタリリン全集刊行會譯 B 6 四四五頁 二八〇圓
- * 辯證法 ローゼンタール著 ソヴェト研究者協會譯 A 5 二二七頁 四〇〇圓
- * マルクス・エンゲルス選集 17 マルクス・レーニン主義研究所編 B 6 二五五頁 二五〇圓

年鑑・辭書

- * 大人名事典 7 外國篇 1 平凡社編 B 5 五五〇頁 一、五〇〇圓
- * 日本經濟四季報 一九五四年四月、六月 日本經濟調查會編 B 6 二九四頁 二五〇圓
- * 勞働年鑑 昭和三十年版 柱勞働關係研究所編 B 40 五九二頁 八〇〇圓
- * アメリカ經濟四季報 第一集 アメリカ經濟研究所編 B 6 三二一頁 三〇〇圓
- * 日本經濟史辭典 上・下・索引 經濟史研究會編 A 5 二二二頁 四、〇〇〇圓
- * 日本勞働年鑑 27 一九五五年版 法政大學大原社會問題研究所編 A 5 九八〇頁 一、二〇〇圓
- * 現代中國辭典 增補版 中國研究所編 B 5 八六五頁 一、五〇〇圓
- * 日本經濟年報 85 東洋經濟新報社編 B 6 二五四頁 九〇圓
- * 勞働經濟四季報 5 一九五四年四月、六月 勞働經濟研究所編 B 6 二五五頁 二五〇圓

經濟事情

- * 日本人口圖說 岡崎文規著 B 6 一七七頁 三〇〇圓
- * コミンテルン日本問題にかんする方針書・決議集 改譯版 日本共產黨史資料委員會編 B 40 二三四頁 一三〇圓
- * 日本の人口 毎日新聞社人口問題調查會編 B 6 三二七頁 三三〇圓

經濟學關係文獻目錄